

Houwakai Dayori

芳和会だより

2024
Summer

8

129号

暑中お見舞い申し上げます

2024年8月1日

発行/社会医療法人芳和会 発行責任者/久保田俊平
熊本市中央区神水1丁目14-41 TEL.096-381-5887
info@howakai.jp



写真:ぼっぼ保育園

【特集】 入院医療から地域移行へ
【特集】 水俣協立グループの新たな幕開け
【紹介】 第74・75期役員紹介
【報告】 2023年度決算報告
【トピックス】 裁判所も179人を水俣病と認める
くすのき憲法九条記念碑建立の取り組み

【トピックス】 第41回くまもと健康まつりを開催しました
現行の健康保険証存続を求める取り組み
【ヘルスケア】 マインドフルネス
【エッセイ】 主権を捨てた国は民を守らない

特集

入院医療から地域移行へ 病床再編と在宅分野の強化・連携の取り組み

菊陽病院 事務長 藤田 信一

はじめに

2024年6月1日より、病床再編を行い277床(許可病床315床)の稼働病床を223床とし、併せて訪問看護ステーションを拡充するという新たな事業展開に大きく舵を切りました。

○この間の経過

菊陽病院は精神科分野の医療・福祉分野の情勢と内部的な力量などを踏まえて、2020年4月に稼働病床315床を277床とする再編を行いました。具体的には、3階フロアで運営していた救急病棟44床および療養病棟54床の2つの病棟(合計98床)を救急病棟60床へと集約し、病院としての経営的効率性もより、地域から求められる精神科分野の救急機能を強化することになりました。

○2度目の病床再編

今回は2度目の病床再編となります。それは、救急患者への個室確保のために、集約した救急病棟60床を3階と4階に分けて一つの病棟に変更し、病床の救急機能の一層の機能強化を行いました。そうした再編とセットで、在宅・地域での生活を支える事業所の一つである訪問看護ステーションの拡充を図るべく、以前の看護師7名・作業療法士1名体制に拡大し、年間利用者数を24年度は前年度比150%増、1日平均16名増を目標としています。そのために営業日・時間の見直しを含め事業内容の拡充を進めていきます。

○精神科医療の情勢

精神疾患は医療計画における5疾病(がん・脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患・糖尿病・精神疾患)・6事業のうちの一つの疾患で国・行政が重点的に取り組むべき医療政策の一つに位置付けられています。精神疾患の動向については、過去15年間で外来患者数は増加傾向である一方、入院患者数は減少しています。また、疾病構造は入院・外来ともに認知症が増えるという高齢化社会の反映を映し出しつつ、同時に、他の疾患および年齢構成についても変化が生じています。市民の意識の変容や精神医学の進歩、新たな治療薬の創出など薬物療法の発展が大きな要因の一つと考えられますが、いずれにしても、入院から在宅・地域での生活へのシフトチェンジが進んでいるのが実情です。

○地域包括ケア

精神障がいにも対応した地域包括ケアの取り組みが進められています。医療や介護が必要な状態になっても、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した生活を続けることができる地域包括ケアが精神科分野においても急速に進められています。病院としても、このような流れを踏まえ、業務を遂行していくことが必要と なっています。これまでの入院医療中心から在宅・地域へとという流れは、患者の人権を尊重する視点からも重要ですが、2024年の診療報酬改定において、一般科(身体科)の考え方・仕組みが精神科分野に初めて取り入れられたことは精神科医療の特性を十分に考慮していない面があり、性急

な変更といえます。そのため、病院としては、この新たな枠組みへの適切な対応を通じて、患者さんの利益と精神科医療の質の向上を図る必要があります。

○在宅事業の展開

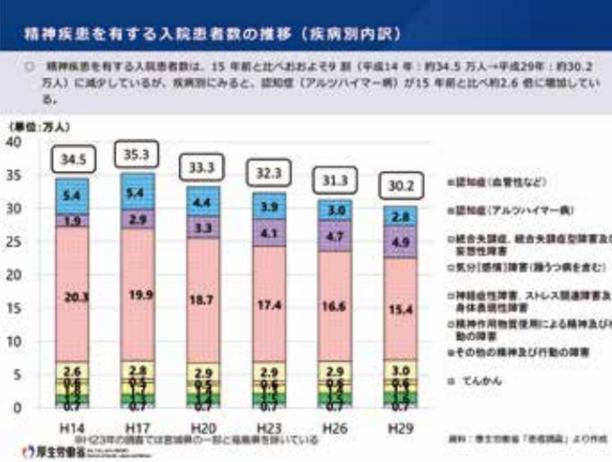
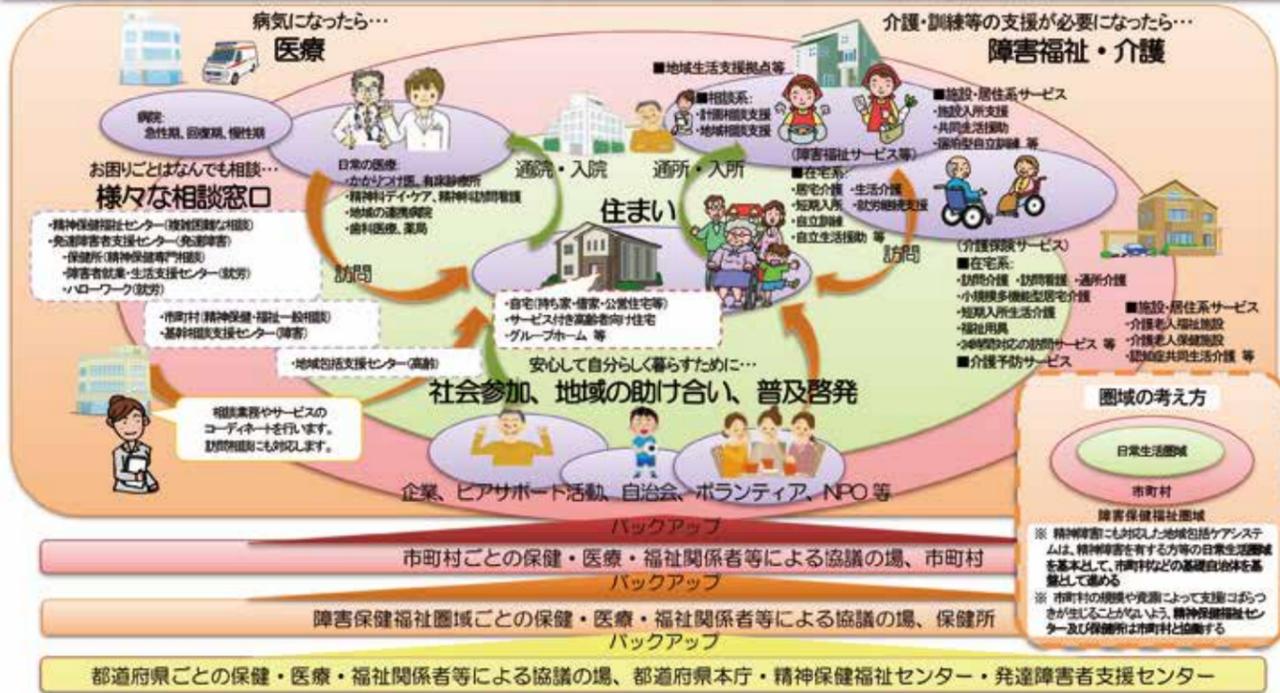
菊陽病院は歴史的に、患者・利用者が在宅・地域で暮らすための事業施策にいち早く取り組んできました。それは、グループホームや福祉ホーム、地域生活支援センター、そしてデイケアや訪問看護などの事業です。最近はこちらにリワークや訪問診療を加えて、新しい在宅分野の連携強化を進めています。こうした在宅・地域の事業分野と入院機能をつなぐ橋渡しの機能を期待される部署として地域医療室が強化されました。診療報酬で精神科にも入院支援加算が新設されました。こうした加算の取得は大切ですが、より大きな枠組みで、病院全体をマネジメントする包括的な運営システムを作る必要があり、早急に取り組むべき重要課題です。

○法人内外の連携

病床再編を軌道に乗せるためには、法人・熊本県民医連のベッドという視点で、くわみず病院はじめ法人内の診療所や介護分野の事業所との有機的な連携が必要とされています。一方で、病院の診療圏域にある事業所との連携なしに、病院の強みが発揮できないと考えています。地域包括ケアを真に実現するために、病院の位置づけを再定義し、次の時代を見据えた展望を職員一丸となつて、切り拓いていきたいと思っています。

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築(イメージ)

- 精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療・障害福祉・介護、住まい、社会参加(就労など)、地域の助け合い、普及啓発(教育など)が包括的に確保された精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指す必要があり、同システムは地域共生社会の実現に向かっている上では欠かせないものである。
- このような精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にあたっては、計画的に地域の基盤を整備するとともに、市町村や障害福祉・介護事業者が、精神障害の有無や程度によらず地域生活に関する相談に対応できるように、市町村ごとの保健・医療・福祉関係者等による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、当事者・ピアサポーター、家族、居住支援関係者などとの重層的な連携による支援体制を構築していくことが必要。



水俣協立グループの新たな幕開け

水俣協立病院 事務長 打上 里美

大暑の候、皆さまにおかれましてはご清祥のことと拝察いたします。
 私事です。2024年4月、水俣協立病院事務長を拝命しました。新米事務長として諸先輩を見習い、これからもより一層研鑽を積んでまいります。今後とも、更なるご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

さて、いよいよ2024年秋、水俣協立グループは全面リニューアルに着工します。コロナ禍と物価高騰の中での病院リニューアルは予想外の困難も多く、大変な重責ではありますが、患者さま、地域の皆さまとともに職員一丸となりリニューアル成功のため力を尽くして取り組む所存です。

水俣協立グループの歴史を紐とけば、1974年1月、水俣病に苦しむ人々の思いから生まれた水俣診療所は、その後、水俣協立病院へと発展し、2024年1月で50年の節目の年を迎えました。水俣病被害者救済の闘いとあわせ、地域の医療・介護・福祉を支えながら奮闘し、併設する神経内科リハビリテーション協立クリニックは、労災職業病の治療をはじめ、神経精神科機能も充実させ、身体もこころもケアするクリニックへと発展。在宅総合ケアセンター協立は、居宅介護支援事業、訪問看護、訪問介護で地域の皆さまの在宅での生活を支える身近な存在として歩んでまいりました。
 今後、水俣・芦北の医療圏では高齢化が進み、在宅生活を支える医療・介護が欠かせない状況となり

ます。水俣協立病院は、在宅のバックベッドとして地域包括ケア病棟（48床）を持ち、チーム医療を活かして、地域の医療機関、介護事業所と連携し、更なる在宅部門の充実をめざします。地域で暮らす人々の「自分らしく生きたい」を支え、人生に寄り添い、ご家族と、大切な人とともに歩んでいく「ふだんは在宅、ときどき入院」を支える地域密着型多機能病院としての役割を果たし、地域医療に貢献していく所存です。

ともに未来を築くために

水俣協立グループリニューアルは、コロナ禍や物価高騰の煽りを受け、建築資材や人件費が高騰する中でのリニューアルとなりました。2024年1月から2億円を目標に地域協同基金と寄付のご協力をお願いしております。リニューアルでは、皆さまのご協力が大きな力となります。すでに、目標の20%を達成しておりますが、引き続き多くの皆さまのご支援をお願い申し上げます。

地域協同基金（上限300万円）は、主に職員、友の会会員、社員の皆さまに呼びかけ、寄付はどなたでも支援が可能です。地域協同基金、寄付に関する詳細な手続きやお問い合わせは、水俣協立病院総

務課、または芳和会本部までご連絡下さい。私たちとともに新しい病院の未来を築き上げていただけることを心より願っております。

水俣協立病院 総務課
 0966-63-1823
 芳和会本部
 096-381-5887



水俣協立グループリニューアルを支える 地域協同基金・寄付の お願い

**水俣協立病院・神経内科リハビリテーション協立クリニックが
新しくなります。**

いのちの平等をかけた50年。これからも地域と共に歩みます。

水俣協立グループは、1974年の開設以来地域の皆さまと共に歩んで参りました。これまで増改築等に対応してきた施設の老朽化対応と耐震化を目的に、2025年度完成を目標にリニューアルを行います。
 建築費用は、その多くを銀行からの借入で対応しますが、皆さまにもお力添えをいただきたく、地域協同基金、寄付へのご協力を呼びかけます。
 今後も健康づくりまちづくりにも取り組み、水俣地域の医療・介護活動の啓、水俣病運動の啓として更に力を発揮できるよう、多くの皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

募集期間 2024年1月～2025年12月

お申込先 お近くの芳和会事業所、友の会事務所までお願い致します。

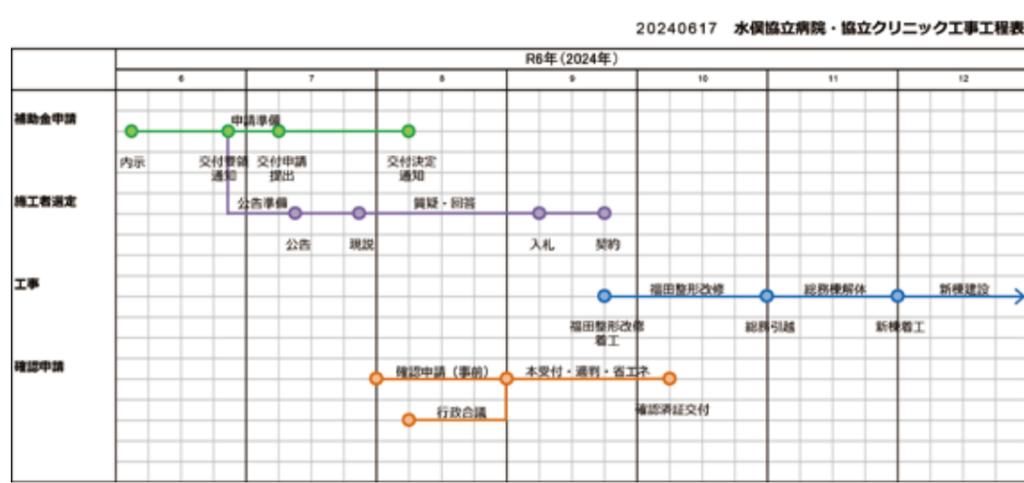
申込方法 申込書と現金を、病院、クリニックの窓口にご持参いただくか、申込書を職員にお渡しいただき申込金額を芳和会の銀行口座にお振込みください。

振込先 肥後銀行水前寺支店 普通1908 社会医療法人芳和会 理事長 積 豪英(セキタケヒデ)

※振込手数料はご負担をお願いします。
 ※本寄付は確定申告寄付金控除の対象外です。

1万円以上のご寄付をいただいた方は、記念プレートにお名前を記載させていただきます。

〒862-0954 熊本市中央区神水1丁目14-41 くわみす病院別館3階
 電話 096-381-5887 FAX 096-381-1502



第74・75期役員紹介 および2023年度決算報告

6月29日、県内5会場（くわみず病院、菊陽病院、水俣協立病院、八代中央クリニック、天草ふれあいクリニック）をWEBでつなぎ、第74期第1回社員総会が開催され、2023年度の事業報告および決算、第74期・第75期役員体制（理事22名、監事3名）について審議が行われ承認されました。役員体制では、理事長に積豪英、副理事長に池上あずさ・重岡伸一、専務理事に久保田俊平が前期に引き続き就任しました。

役員紹介

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| 理事長……………積 豪英(菊陽病院副院長) | 理事……………牟田 喜雄(平和クリニック院長) |
| 副理事長……………池上 あずさ(くわみず病院院長) | 理事……………東雲 芳朗(くすのきクリニック院長) |
| 副理事長……………重岡 伸一(水俣協立病院院長) | 理事……………大石 史弘(八代中央クリニック院長) |
| 専務理事……………久保田俊平(専務理事) | 理事……………高岡 滋(神経内科リハビリテーション協立クリニック院長) |
| 理事……………赤木 正彦(くわみず病院副院長) | 理事……………田嶋 剛(天草ふれあいクリニック院長) |
| 理事……………本高 勝久(くわみず病院事務長) | 理事……………井上 悟(人事総務部長兼経理部長) |
| 理事……………竹丸 恵子(くわみず病院総看護師長) | 理事……………川上 和美(看護介護部長) |
| 理事……………宮村 潤一(くわみず病院医療技術部次長) | 理事……………加藤 修(弁護士) |
| 理事……………橋本 和子(菊陽病院事務長) | 理事……………中山 裕二(NPOみなまた代表理事) |
| 理事……………藤田 信一(菊陽病院事務長) | 監事……………阿部 広美(弁護士) |
| 理事……………宮本 詩子(菊陽病院総看護師長) | 監事……………久(社会福祉法人くまもと福祉会) |
| 理事……………打上 里美(水俣協立病院事務長) | 監事……………作取 久(社会福祉法人くまもと福祉会) |
| 理事……………松本 幸美(水俣協立病院総看護師長) | 監事……………長谷川伊佐子(保健師) |

新任役員 の 顔ぶれ



2023年度決算概要

1年間の経営成績を表す経常損益は前年から大きく減少し、97百万円の赤字で、当期純利益は1億31百万円の赤字となりました。事業収益は62億87百万円で前年から63百万円減少しました。入院収益は前年比99.2%、外来収益は前年比98.1%にとどまりました。事業外収益は2億9百万円を計上しその内4百万円はコロナ関係の補助金によるものでした。2023年5月に、新型コロナウイルス感染症がそれまでの2類相当から季節性インフルエンザと同等の「5類」へと変更され、公的補助は大きく減少しました。2022年度は特にクラスター対応による補助金が大きかったこともあり、2023年度のコロナ関係の補助金は前年から2億12百万円(前年比1.7%)減少しました。事業費用は、人件費が職員の退職や休職、人材確保が厳しく

なる中、計画を下回る配置で推移したことが主な理由で、予算を1億2百万円(予算比98%)下回りました。経常利益は前年差△2億42百万円(前年比28.7%)の97百万円(経常利益率1.5%)の赤字となり、結果、前年比で減収減益となりました。3病院(くわみず病院、菊陽病院、水俣協立病院)・5診療所(平和クリニック、くすのきクリニック、八代中央クリニック、神経内科リハビリテーション協立クリニック、天草ふれあいクリニック)では八代中央クリニックを除き、7事業所が赤字(経常利益率0.0%~14.3%)を計上しました。介護事業を中心とする八王寺の杜ケアセンター協立の赤字体質は依然として続いており、経営改善が求められています。医師体制の動きとしては、2023年度は初期研修医3名(2名間は県外を中心に研修、既卒医師4名の合計7名の受け入れが出来ましたが、退職が3名あり、医師数は41名となっています。この間、精神科を中心に増えていることが大きな特徴となっています。

損益計算書(概要)

自2023年4月1日 至2024年3月31日 単位:千円

	実績	対前年増減	前年比
事業収益	6,287,750	△ 62,769	99.0%
医業収益	5,797,318	△ 76,299	98.7%
介護収益	454,797	11,608	102.6%
その他事業収益	35,635	1,923	105.7%
事業費用	6,369,899	16,017	100.3%
人件費	4,372,885	30,980	100.7%
材料費	665,441	31,717	105.0%
委託費	239,721	△ 9,777	96.1%
経費	636,663	△ 40,736	94.0%
減価償却費	243,364	11,571	105.0%
リース料	59,385	△ 9,071	86.7%
控除対象外消費税	152,437	1,333	100.9%
事業利益	△ 82,148	△ 78,785	2442.7%
事業外収益	209,131	△ 168,932	55.3%
(うちコロナ関係補助金)	3,576	△ 211,851	1.7%
事業外費用	29,906	△ 6,212	82.8%
(うち支払利息)	18,125	△ 2,471	88.0%
経常利益	97,076	△ 241,505	28.7%
特別利益	35,452	21,664	257.1%
(うちコロナ関係補助金)	14,342	13,262	1328.0%
特別損失	1,237	△ 189,059	0.7%
税引前当期純利益	131,291	△ 30,783	81.0%
法人税等	421	0	100.0%
当期純利益	130,870	△ 30,783	81.0%

TOPICS

裁判所も179人を水俣病と認める

熊本県民主医療機関連合会（水俣病担当） 原田 敏郎

前号でノーモア・ミナマタ第2次近畿訴訟判決の報告をさせていただきました。その後、今年3月22日に熊本、4月18日には新潟の判決ができました。熊本は敗訴、新潟は一部勝訴という結果になりました。3地裁で判断が分かれ、私たちがめざしていた勝利の連弾で一気に解決へとはなりませんでしたが、裁判所が179人を水俣病に認めていることは認められた事実、大きな意義があります。

そのような中で、5月1日、水俣病犠牲者慰霊式後に開かれた被害者、被害団体との懇談で被害者が発言中であるにもかかわらず持ち時間の3分に達したとしてマイクを切断するという事件が起きました。新聞は大きく報じテレビでも全国版で報道されました。

伊藤信太郎環境大臣は、「水俣病問題を強化するため」に省内に新組織を立ち上げましたが、発言は後退し続けています。それでも今年の全国公害被害者総行動で、環境省は解決に向けた協議の場を持つと約束しました。高齢化する被害者を刻も早く救済しなければなりません。引き続き、読者のみなさんのご支援をお願いします。



2024年3月22日 熊本地裁前

TOPICS

第41回くまもと健康まつりを開催しました

第41回くまもと健康まつり実行委員会 事務局長 井上 晋

5月12日、第41回くまもと健康まつりを健康商店街アーケードで開催しました。あいにくの雨でしたが約700名の来場がありました。秋津小吹奏楽部、キッズダンス、抽選会などのステージ企画をはじめ、健康相談、健康チェック、木工体験、うたごえ、江津湖ウォーキングなど盛りだくさんの内容でした。参加者からは「久しぶりのバザー販売に参加できてうれしかった」「雨の心配をせず楽しく参加できました」などの声が寄せられました。商店街組合の理事長からは「このような規模のまつりを手作りで運営されていることに驚いた」「商店街を盛り上げていただき感謝している」などの感想をいただきました。くまもと健康まつりは1982年に「健康人だけでなく病気療養の人も障がい者も安心して参加できるまつり」を目的に始まり、これからも知恵も力（金）も持ち寄る手づくりの市民のまつりをめざして、楽しく取り組んでいきます。



健康チェックコーナーの様子

TOPICS

くすのき憲法九条記念碑 建立の取り組み

くすのきクリニック 山下 勇人

4月17日、くすのきクリニックにて憲法九条記念碑完成式を行いました。積豪英理事長、北部健康友の会宮川会長、クリニック前所長の松本久先生と東雲芳朗所長が挨拶の後、松本先生作詞作曲の「Peace 平和を編む」をギターとオカリナの伴奏で合唱しました。

昨年5月から全日本民医連70周年記念事業の一つである憲法九条の碑建立に向け、クリニックくすの木薬局友の会で構成される「くすのき憲法九条記念碑建立実行委員会」で取り組んできました。くまもと九条の会、人吉球磨九条の会を含む友の会関係の方69名と、職員26名から寄付をいただき、碑を建立できました。

記念碑はクリニックの前を通る人に良く見える花壇に設置しました。今のイヌワシとイランの報復合戦にみられるように「抑止力」という軍備増強路線は、地域を巻き込んだ戦争への道です。道行く人が、憲法九条を刻んだ「平和へのメッセージ」を見てくれ、平和を心に刻んでくれることが願いです。



TOPICS

現行の健康保険証存続を求めると取り組み

熊本県民医連 事務局 田中 翔太郎

現行の健康保険証を2024年12月2日に廃止することを政府が決定し、医療機関や患者さんをはじめ、役所や介護施設など様々なところで不安と混乱が広がっています。

熊本県民医連は熊本市6月議会に「現行健康保険証の存続を求める陳情書」を提出し、6月19日に趣旨説明を行い保険証廃止の問題点や医療介護現場の現状を訴えました。また、厚労省への「保険証残せ」パブリックコメント運動にも取り組み、職員に呼びかけ医師をはじめ多くの職員が保険証廃止の反対を訴えました。現行の健康保険証を残すことを求めた署名は、5000筆を目標に取り組み5月末時点で5216筆に達しています。

様々な問題を抱えたマイナ保険証の一本化、保険証の廃止は医療へのアクセスを阻害する要因になりかねません。いのちをまもる医療従事者として、全ての人がいまままで安心して医療を受けられるように、現行の健康保険証を残すことを強く求めたいと思います。



主権を捨てた国は民を守らない

集団的自衛権保持、武器製造輸出解禁、自衛隊の米軍統治、敵基地攻撃ミサイル配備等々。とんでもない軍事化が進行する。

今国会で安保関連3法律が可決。驚くべき事に立民が賛成に回った。政権交代がありうるとの観察で自公政権とのギャップを自ら埋める思惑とのこと。違和感を強く持った。私の青年期に強く憤激したケネディーライシャワー(KR)路線(1961~)とおりの政治がまたぞろ展開しているからだ。

侵略戦争敗戦後の歴史を振り返る。

日本国憲法が制定され(1946年11月)、朝鮮戦争勃発(1950年6月)、サンフランシスコ講和条約発効(1952年4月28日)。この時「治外法権(主権放棄)の日米安保条約」が国民には秘密裏に吉田茂首相ただ一人の調印で締結された。講和後の米軍の在日要件を満たす為だ。主権放棄の反共米傀儡化宣言。屈辱の戦後史が始まる。

安保条約改定(1960年)に際しては巨大な阻止闘争が生じた。米空軍士官候補生歓迎会(1961年6月25日)でライシャワーが危機的状況にある日本統治の打開策をぶち上げた。①日本安定統治のためのキーポイントは共産党を孤立させること。他の全ての野党は懐柔可能だ。②自民党が凋落したとき、自民党と全く同じ施策が継続するようにすること。

「我々は10年掛かろうが20年掛かろうがやり遂げねばならない」とし、反対派を中心に、日本を思想的／文化的に変化させる巨大計画だ。学者・文化人、政治家、労働組合活動家、平和運動活動家、市民運動活動家等々、あらゆる分野の指導的人物を米国に招待し、金を与え優遇し、反共活動家に仕立て上げる実施を誓った。

1980年に「社公合意」が発表され、政治的反共体制が達成。その後、KR路線の目指すとおりの日本政治が展開した。

傀儡保守は憲法と主権在民を「目の上のたんこぶ」とした。

主権者育成ではなく、上の者に従えという「従属者育成」が「教育」を名乗り、「主権者たる知力」の発露を奪い続けた。

平和憲法の骨抜きが計られ続けた。典型は人権放棄の数々と自衛隊保持。安倍内閣曰く、「戦後政治の総決算」、「戦争のできる美しい国」、「みっともない憲法」。以降「閣議決定」等で憲法が実質的に破壊され続ける。

KR路線が日本を蝕んでいる間、棄民された沖縄では、非暴力の県民団結により日米の政治枠を変え、祖国復帰を勝ち取り、共産党を含む協同が継続した。しかし政府は「密約(主権放棄)」等で現在に至るまで棄民し続ける。

反共体制下、日本の民主主義自体が大きく後退しているのだ。ニューメラー牧師の警句が示すように共産排除などと自らの自由を束縛しているときではない。

憲法を大切に、基本的人権に基づく国家主権を回復し、祖国と呼びうる誇り有る日本とその主権者を「再建」しようではありませんか!



【プロフィール】
矢ヶ崎克馬
1943年東京生まれ、松本育ち。
琉球大学名誉教授。
つなごう命の会(避難者互助グループ)会長

琉球大学名誉教授
矢ヶ崎 克馬

マインドフルネス

いま、ここ、自分に意識を向け、気づくこと

菊陽病院 心理室 公認心理師 安木 達彦

コーヒーの風味を味わっていますか？

コーヒーを飲むとき、私たちはたいてい、考えごとをしたり、テレビの画面、手元の資料や本に目を向けたりしながら、なかば無意識的に口をつけています。

今日1日やるべきこと、それについての焦り・不安に心がとらわれているときは、香りや色、味わいを感じられなくなっています。

思い出してみましょう。今朝飲んだコーヒーの風味は、どのようなものでしたか？

なんとなくの日々を過ごさないために

マインドフルネスという言葉聞いたことはありますか？マインドフルネスとは「いま、自分が生きているこの瞬間」に気づくということです。

私たちは日ごろの生活の中で、「正しい・誤り」、「すべき・すべきではない」、「よい・悪い」といった評価をしがちです。

日常生活を送るうえで、大事なことを頭のなかで反芻し、失敗のないように段取りを考えることは、効率よく働き、暮らすための大切な作業です。

しかし、私たちの暮らしは、効率のためだけに存在するわけではありません。効率や業績ばかり重視することは、心のなかの考えにとらわれ、日常を味わう感覚が失われ、ルールに沿ったなんとなくの日々を過ごすようなものです。

それは、自分も含めて周りの世界が灰色になっていくような感覚ではないでしょうか。

せめて日常的な営みのなかでは、目の前のものを味わう感覚を思い出しましょう。

今朝のコーヒーはどんな香りだったでしょうか。

色は昨日よりもちょっと薄かった？少し熱かったかもしれない。

このように自分が感じている感覚に意識を向けることは、なんとなくの日々を過ごさないように、そして自分が主体的に生きる感覚を取り戻してくれる瞬間、ちょっとした幸福と言えるかもしれません。

マインドフルネスな考え方

- ・心の中にわき上がる思いなどに対して、「よい・悪いなどの判断(ラベリング)をしない」
- ・わき上がる思いから「逃げようとしない」
- ・感じた感覚は「心を開いて受け止める」
- ・不安な気持ちは「自分そのものだと思うずに自分を信じる」
- ・不安な気持ちに対して「どうかしようと思えない」
- ・不安な気持ちでも「あるがままに受け止める」
- ・自分の気持ちや慣習に「とらわれない、固執しない」



引用文献: 貝谷久宣(2019) よくわかる心のセルフケア ストレス・不安・うつに負けない 株式会社主婦の友社

夏期講習



浦本一也 (K)

民医連 MIN-IREN

事業所紹介

私たち芳和会は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざします。

くわみず病院

熊本県熊本市中央区神水1丁目14-41 TEL096-381-2248



一般急性期44床、ハイケア8床、地域包括ケア病棟48床、救急告示病院、睡眠医療センター、女性医療センター、健診センター、在宅療養支援病院、歯科、通所リハビリテーション、臨床研修(協力型)病院、日本プライマリ・ケア学会認定施設、日本内科学会教育関連病院、保育所、無料低額診療事業等

菊陽病院

熊本県菊池郡菊陽町大字原水5587 TEL096-232-3171



精神315床、精神科救急医療実施病院、訪問看護ステーション、地域生活支援センター、デイ・ナイトケア、歯科、福祉ホーム、グループホーム、臨床研修(協力型)病院、依存症専門医療機関、依存症治療拠点機関、保育所、無料低額診療事業等

水俣協立病院

熊本県水俣市桜井町2丁目2-12 TEL0966-63-1704



地域包括ケア病棟60床、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、日本プライマリ・ケア連合学会協力施設、総合診療研修連携施設、無料低額診療事業等

- 平和クリニック TEL.096-371-4751
- 八代中央クリニック TEL.0965-32-8008
- 天草ふれあいクリニック TEL.0969-24-1400

- くすのきクリニック TEL.096-339-0187
- 神経内科リハビリテーション協立クリニック TEL.0966-63-6835
- サービス付高齢者向け住宅八王寺の杜 TEL.096-375-7124



無料法律相談のお知らせ

担当弁護士は熊本中央法律事務所の先生方です
ご希望の方は下記の連絡先までお電話ください

相談日	担当	相談日	担当
7月22日(月)	久保田 紗和	10月21日(月)	高島 周平
8月20日(火)	板井 俊介	11月20日(水)	久保田 紗和
9月20日(金)	石黒 大貴	12月20日(金)	板井 俊介

*担当弁護士が変更になる場合があります。予めご了承ください。
会場/くわみず病院別館 予約制/13:00~15:00
連絡先/芳和会本部人事総務部 TEL.096-381-5887
受付日/月曜日~金曜日

編集後記

6月の社員総会では、決算承認、中長期経営計画の承認、事業閉鎖に伴う定款の一部変更、役員改選を行いました。事業構想では、水俣協立グループのリニューアルを進める一方、内部環境および外部環境の変化やそれに対応する当法人の状況をふまえ、2025年4月から平和クリニックをくわみず病院へ統合する方針を固めました。平和クリニックの跡地は民医連活動の拠点の一つとして職員や地域の声も聴きながら有効活用していきます。

診療報酬の実質マイナス改定、物価高騰、少子高齢化、生産年齢人口の減少、大型企業の進出による人件費相場の高騰、働き方改革、医療DX...そして何よりも民医連綱領実践の取り組み。今年度も充実した日々を送れそうです。(K)